

事業所名 グループホーム町屋
運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 2020年 12月 21日(月)	
参 加 者 (意見照会)	議 題
利用者 0名	① 行事報告 ② 行事予定 ③ 意見照会 ④ 身体拘束適正化検討委員会
利用者家族 1名	
地域住民の代表者 0名	
市職員 1名	
地域包括支援センター職員 1名	
事業所 0名	
会 議 録	
<p>2020年12月21日に行う予定でしたが、コロナウィルス感染拡大防止により開催を中止しました。</p> <p>① 行事報告</p> <p>1号館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月11日 昼食時に施設で作ったおでんをお召し上がり頂きました。おでんの具材は玉子、大根、生姜天、角天、じゃこ天、ちくわをご用意させて頂きました。皆様、おでんを美味しくそうにお召し上がり頂けました。 ・12月16日 おやつ時に誕生日会を行いました。ショートケーキをお召し上がりいただきながら皆さんでお祝いさせて頂きました。 ・12月24日 クリスマス会を行いました。昼食にはハンバーガー、チキンナゲット、ポテト、コンソメスープなどをご用意させて頂きました。おやつ時にはケーキをお召し上がり頂きながら、皆様お楽しみ頂けました。 <p>2号館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月11日 昼食時に施設で作ったおでんをお召し上がり頂きました。おでんの具材は玉子、大根、生姜天、角天、赤棒、ちくわをご用意させて頂きました。おでんを美味しくそうにお召し上がり頂けました。 ・12月24日 クリスマス会を行いました。昼食にはホットドック、ピザ、巻きずし、コーンスープなどをご用意させて頂きました。おやつ時にはケーキをお召し上がり頂きながら、皆様お楽しみ頂けました。 	

② 行事予定

1・2号館

- ・誕生日会があります。

③ 意見照会

《ご家族様》

・面会の時、歌のレクリエーションをしている所でした。楽しげな顔をしている所が見られ良かったです。

ありがとうございます。利用者様には、歌のレクリエーションもあります。身体を動かす体操なども行なって頂いています。引き続き、利用者様が楽しんで頂ける事や気分転換になる事を考えていきます。

- ・コロナ対策で大変だと思いますがよろしくお願いします。

ありがとうございます。12月25日付でご家族様に対応についてのお手紙を送らせて頂きました。市内・県内の感染状況により対応が変更になる場合、その都度ご連絡させて頂きます。

・今回のスピーチロックについて読ませて頂きました。毎日に忙しさの中どうしても「ちょっと待って」、「なんでそんな事するの。」等口から出ます。言い変える事によって、自分を落ち着いて接する事もできるし、利用者様にとっても感じ方、行動が大きく変わっていくと思います。利用者様が穏やかに笑顔で過ごせることを望みます。とても良い取り組みだと思います。ありがとうございます。

ありがとうございます。認知症の方は「怒られたり」、「否定されたり」すると症状が進行していくと言われています。まず、その二点はしない事が大切だと思います。それに加えて、語尾を柔らかくしたり、言い方を変えたりする事でご利用者様にも安心して頂ければと思っています。今後ご利用者様が笑顔で安心して頂けるような場所になる様に取り組んでいきます。

〈瀬戸市高齢者福祉課様〉

・スピーチロックについて、具体的に事業所内で気を付けていることや取り組まれていることはありますか？

ありがとうございます。まず、各職員には声掛けの仕方、言葉の選び方などを注意しています。同じ言い方でも語尾を柔らかくしたり、言い方を変えたりする事で変わってくると思います。事業所には理念が以前よりありますが、2019年からは、「おこらない・ひていしない・つめたくしない」の頭文字を取り「おひつ」のスローガンを作りました。こちらのスローガンも頭に入れて業務をする様に指導しています。スピーチロックなど、法人全体の勉強会・事業所単位での定例会議などを使い職員の方に周知して頂けるように取り組んでいましたが、コロナ渦により全体で集まるのが難しい状況ではありますので、現在は書面にて職員がいつでも閲覧できるように取り組んでいます。

〈やすらぎ地域包括様〉

・いつもお世話になっております。特に意見はございません。今後ともよろしくお願いいたします。

こちらこそ、いつもお世話になっております。ありがとうございます。今後とも、こちらこそ宜しくお願い致します。

④身体拘束適正化検討委員会

◆まとめ

今回は「スピーチロックとは」を行う予定でした。身体拘束は動きを抑制するだけではなく、言葉での抑制も拘束に当たります。認知症も「否定する。」「怒る。」と進行すると言われていています。今後も、利用者様に対しての言葉遣いにも気を付け、利用者様が安心出来るケアに取り組んでいきます。